

【平成15年度専修学校ITフロンティア教育推進事業】

事業名	バイオ情報技術者育成の総合的教育体系の構築とケース研修システムの開発
学校法人名	学校法人 大阪滋慶学園
学校名	大阪ハイテクノロジー専門学校
代表者	理事長 浮舟 邦彦
<p><事業の概要></p> <p>本事業では、バイオ情報技術者のスキル標準および育成を目的としたカリキュラム、それに基づいたバイオ情報技術者育成のためのケーススタディ問題集と指導者用マニュアルを開発した。</p> <p>スキル標準の妥当性については実態調査によって検証を行った。また実証研修講座を実施し、育成カリキュラムとケーススタディ、講座の運営モデルなどの有効性を検証している。</p> <p><成果></p> <p>バイオテクノロジー分野ではバイオ情報技術者のように、複数分野の知識・スキルを必要とされる複合的な人材は、研究者の強力なパートナーとして、近年急速に需要が高まってきている。</p> <p>しかしながら日本では、研究者の高度な要求に応えられる人材は少なく、その一方で実践力のある人材を適切に育成しているとは言い難い。このような要因として、バイオ情報技術者に必要となるスキルの未体系化と実践的な教材の欠如が考えられる。</p> <p>本委員会では、このような課題を解決すべく、「バイオ技術者スキル標準」、「ケーススタディ問題集」、「指導者用マニュアル」を開発した。具体的な内容は、次のようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ情報技術者スキル標準 経済産業省が公表したITスキル標準のスキームに準拠して、バイオ情報技術者に必要とされる知識・スキルを体系化した指標である。 ・カリキュラム バイオ情報技術者を育成するための学習項目をまとめ、人材育成プロセスを提示している。 ・ケーススタディ問題集 業務現場で課題となるケースをモデル化して取り上げ、これを解決するプロセスを体験することでスキルアップを図る方式の教材である。 ・指導者用マニュアル ケーススタディ問題集のための指導書である。 ・実態調査 バイオインフォマティクス関連の企業を対象としてヒアリング調査を実施し、「バイオ情報技術者スキル標準」の妥当性を検証することができた。 ・実証研修講座 開発したケーススタディ問題集を教材として、専門学校の学生や当事業のセミナー参加者を対象とした実証研修講座を実施している。その結果、ケーススタディ問題集の有効性を検証することができた。あわせて実証研修講座の有効性についても検証できた。 	